

創立125周年記念事業

記念式典行事概要

本年2010年、中央大学は創立125周年を迎えます。各種の記念行事は、2008年度のプレ企画に始まり、昨年から本年にかけては学内26機関から34の企画が提案され、様々な行事が展開されています。また、各機関に共通する行事として「環境問題」に的を絞ったメイン企画の準備を進めており、この企画を通じて本学を総合的に表現し、社会にその存在を新たに示すことをめざしています。学生記念行事としては、白門祭や各サークル等とタイアップした独自の企画の展開を計画しています。

本学創立125周年記念式典は、2010年11月13日(土)午後2時より、多摩キャンパス9号館(クレセントホール)にて開催しますが、会場の収容能力が楽団員席を除き約1,700名に限られることから、ご

招待対象者以外の方には、近接する8号館に会場を設け、映像をご覧いただくことで準備を進めており、7月下旬に『学員時報』でご案内予定です。また、この映像はリアルタイムでインターネット配信し、各キャンパスやご家庭でもご覧いただけます。

なお、今後の最新情報は、「125周年記念サイト」(<http://chuo125.jp/>)にてお知らせしてまいります。

式典開催日の訂正

前号『中央大学の近況Vol.2』4頁「創立125周年記念事業」本文中、記念式典開催日の記載に誤りがありました。正しくは、

「2010年11月13日(土)午後2時開式」
です。ここに訂正し、お詫び申し上げます。

CHUO125

記念式典行事



中央大学創立125周年記念式典
VR(バーチャルリアリティ) & 寸劇上演

中央大学 源流、記憶そして未来へ

2010年11月13日(土)
中央大学多摩キャンパス9号館(クレセントホール)

VR & 寸劇企画「中央大学 源流、記憶 そして未来へ」は、昨年の『国宝阿修羅展』や『海のエジプト展』で上映された、凸版印刷株式会社最新のCG映像技術を取り入れた、式典のメイン企画です。寸劇の台本・演出を担当するのは、総合政策学部で英米演劇、語りの文化を教えている黒田絵美子教授。

本学創設者たちが留学し、中央大学の源流とも言われている、英国ミドルテンプレのVRを背景に、ナレーションと寸劇で本学の建学の精神を振り返り、駿河台校舎時代、そして現在を概観して、学員、在学生、教職員一同が、中央大学の未来に向かうモーメントを創り上げたい、そんな思いから、制作を進めています。

【源流】では、1881年のロンドンのミドルテンプレ・ホールを再現。のちに中央大学の前身、英吉利法律学校初代校長となる若きジェントルマ

ン、増島六一郎役を、本学附属高等学校出身であり、落語協会理事でもある柳家さん喬師匠が演じます。

【記憶】では、駿河台キャンパスの南門、1号館、2号館、大学院図書館の、1970～80年の景観を再現・VR化します。駿河台校舎の建築図面、記録写真と映像、史料を集め、現地取材やOB・OGへのヒアリングを通し、まさに諸先輩の「記憶をたどる」作業を行いながら、かつての駿河台キャンパスを再現。志を同じくする者同士が集い、日夜、勉学にエネルギーに励む駿河台の学生役を、総合政策学部第4期生であり、現在、ミュージカル劇団Steps所属の女優でもある、進行役の宮ヶ原千絵さんが演じます。

【現在未来】では、いまの多摩キャンパスの全体俯瞰をVR化し、白門プロムナード周辺や緑、花など自然環境豊かな

多摩校舎ビオトープを、経済学部協力で表現。VRの美しい映像を背景に、商学部の現役学生である吉岡拓麻さんが学生役を演じます。

その他、在学生・生徒による「誓いの言葉」も計画しており、今回制作したVRデータは、今後、理工学部情報工学科

の牧野光則教授のもと、研究室の学生たちの手によって、教育・研究・広報ツールとして活用されます。

中央大学の過去・現在・未来を貫く創立の精神を、観る人それぞれが実感できる、今回の式典でのVR&寸劇企画に、ぜひご期待ください。



凸版印刷(株)「トッパンVRシアター」に投影された制作中のミドルテンブル・ホール内観

中央大学創立125周年記念展示

学びのたから 中央大学の起源・絆・記憶

第1部 中央大学の起源／第2部 赤い襷の絆／第3部 キャンパスの記憶

2010年11月13日(土)～11月20日(土) 予定／中央大学多摩キャンパス9号館(クレセントホール)

創立以来125年の長い時間の中で積み重ねられてきた大学の歴史。そこから生み出される起源・絆・記憶。

この3つのテーマから、ご来場の皆さまと一緒に、中央大学の「学びのかたち」に迫ってみたいという思いで、現在、展

示の準備を進めています。

18人の創立者たちの軌跡、本学を代表する学員の学び、スポーツで培われた絆、そして学びの場として心の奥底に在るキャンパスの記憶。

19世紀後半の貴重なオリジナル資料

から最先端のデジタル技術を駆使したインタラクティブアートまでが一体となった心地よい空間が、21世紀の多摩キャンパス9号館に現出します。

多くの皆さまのご来場をお待ちしています。

創立125周年記念理事会企画特別行事について

「創立125周年記念理事会企画特別行事」は、21世紀の現代社会が抱える地球規模での複雑化した様々な諸問題に関して、本学の教育・研究機関としての取り組みや、これらの諸問題の解決に向けた今後の取り組み姿勢等について広く社会に公開・表明することを狙いのひとつとしています。

今回の特別行事については、深刻化する

地球規模での環境問題にテーマの焦点をあて、国内外・学内外の環境問題の有識者による「地球環境問題」に関するシンポジウムを今秋に開催することを目途としています。本学学生・附属学校の生徒、学員をはじめ、一般の方々にもご参加いただける機会とすべく、その実施に向けた企画等の具体化を進めています。

《お知らせ》

今年度のホームカミングデーについて

2010年度のホームカミングデーについては、創立125周年記念式典実施のため、開催を見送ることとしました。

このため、2006年度より実施している「卒業後50周年特別企画」の、2010年度対象者(昭和35年卒業生)の方には、翌2011年度対象者(昭和36年卒業生)の方と2年合同でご参加をいただく予定です。